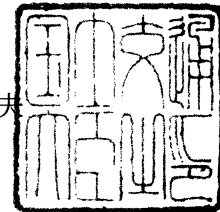


認 定 書

国住参建第 1563 号
令和 5 年 8 月 8 日

アイジー工業株式会社
代表取締役社長 森 安弘 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-5286-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ロックウール保温板充てん／合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金
めっき鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

ロックウール保温板充てん／合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形状	平板
表面形状	平滑
厚さ (mm)	$50_{\pm 5} \sim 75_{\pm 8}$
質量 (kg/m ²)	$11.76_{\pm 1.2} \sim 38.14_{\pm 3.8}$

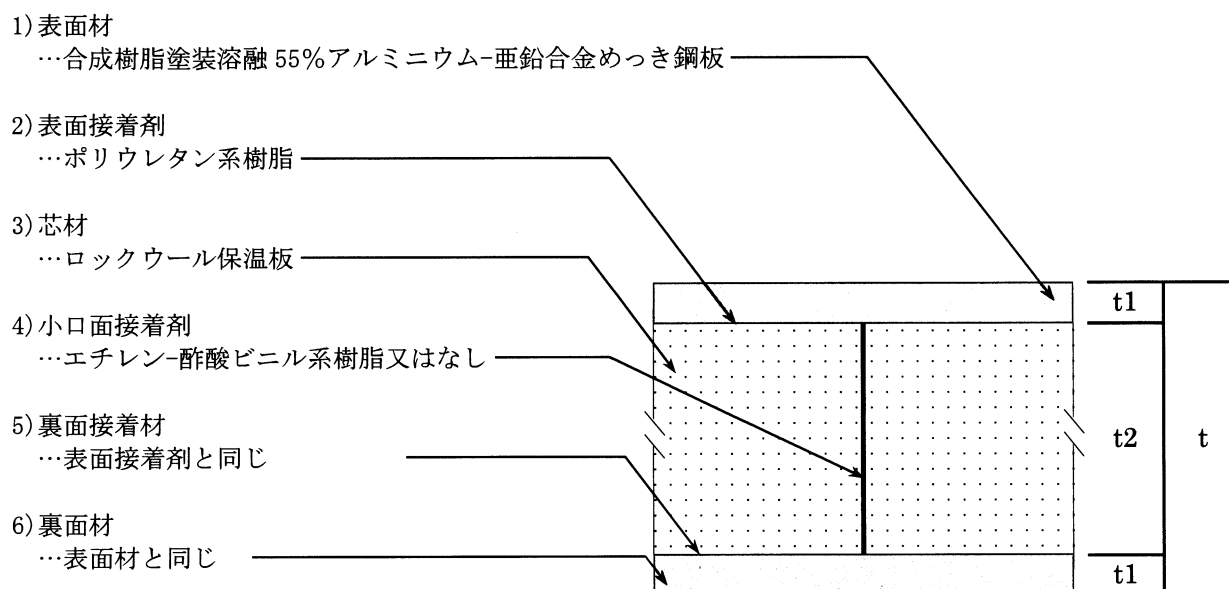
3. 材料構成

項 目	仕 様
表面材	合成樹脂塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・ 厚さ 0.27$\pm$0.05, +0.10mm$\sim$1.6$\pm$0.14, +0.19mm ・ 質量 2.280$\pm$0.228kg/m²$\sim$12.860$\pm$1.286kg/m²(有機質量 95.1$\pm$9.5g/m²以下) ・ 構成 [1]表面塗装： ・ 質量 70.0$\pm$7.0g/m²(固形量)以下(有機質量 66.5$\pm$6.7g/m²以下) ・ 構成 [1]-1 上塗：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル系樹脂 ・ 質量 55.0$\pm$5.5g/m²(固形量)以下(有機質量 52.3$\pm$5.2g/m²以下) ・ 組成(質量%) - ポリエステル系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$95.0$\pm$3.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……5.0$\pm$0.5$\sim$70.0$\pm$3.0 (2) フッ素系樹脂 ・ 質量 55.0$\pm$5.5g/m²(固形量)以下(有機質量 52.3$\pm$5.2g/m²以下) ・ 組成(質量%) - フッ素系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$95.0$\pm$3.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……5.0$\pm$0.5$\sim$70.0$\pm$3.0 [1]-2 下塗：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル系樹脂 ・ 質量 15.0$\pm$1.5g/m²(固形量)以下(有機質量 14.3$\pm$1.4g/m²以下) ・ 組成(質量%) - ポリエステル系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$95.0$\pm$3.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……5.0$\pm$0.5$\sim$70.0$\pm$3.0 (2) エポキシ系樹脂 ・ 質量 15.0$\pm$1.5g/m²(固形量)以下(有機質量 12.0$\pm$1.2g/m²以下) ・ 組成(質量%) - エポキシ系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$80.0$\pm$2.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……20.0$\pm$2.0$\sim$70.0$\pm$3.0 [2] 基材：溶融 55%アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ・ 厚さ 0.27$\pm$0.05mm$\sim$1.6$\pm$0.14mm ・ 質量 2.280$\pm$0.228kg/m²$\sim$12.760$\pm$1.276kg/m² [3]裏面塗装： ・ 質量 30.0$\pm$3.0g/m²(固形量)以下(有機質量 28.5$\pm$2.9g/m²以下) ・ 構成 [3]-1 下塗：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル系樹脂 ・ 質量 10.0$\pm$1.0g/m²(固形量)以下(有機質量 9.5$\pm$1.0g/m²以下) ・ 組成(質量%) - ポリエステル系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$95.0$\pm$3.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……5.0$\pm$0.5$\sim$70.0$\pm$3.0 (2) エポキシ系樹脂 ・ 質量 10.0$\pm$1.0g/m²(固形量)以下(有機質量 8.0$\pm$0.8g/m²以下) ・ 組成(質量%) - エポキシ系樹脂 ……30.0$\pm$3.0$\sim$80.0$\pm$2.0 - 無機質系顔料(酸化チタン等) ……20.0$\pm$2.0$\sim$70.0$\pm$3.0

項 目	仕 様
表面材 (つづき)	[3]-2 上塗：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル系樹脂 ・質量 $20.0 \pm 2.0 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $19.0 \pm 1.9 \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { ポリエステル系樹脂 $\dots 30.0 \pm 3.0 \sim 95.0 \pm 3.0$ { 無機質系顔料 (酸化チタン等) $\dots 5.0 \pm 0.5 \sim 70.0 \pm 3.0$ (2) エポキシ系樹脂 ・質量 $20.0 \pm 2.0 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $16.0 \pm 1.6 \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { エポキシ系樹脂 $\dots 30.0 \pm 3.0 \sim 80.0 \pm 2.0$ { 無機質系顔料 (酸化チタン等) $\dots 20.0 \pm 2.0 \sim 70.0 \pm 3.0$
表面接着剤	ポリウレタン系樹脂 ・質量 $600 \pm 60 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $354 \pm 35 \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { ポリウレタン樹脂 $\dots 58.0 \pm 5.0$ 以下 { 有機質系添加剤 (アミン系触媒等) $\dots 1.0 \pm 1.0$ 以下 { 炭酸カルシウム $\dots 34.0 \pm 5.0$ 以上 { 無機質充てん材 (ゼオライト等) $\dots 7.0 \pm 5.0$ 以上
芯材	[1] 基材 ロックウール保温板 ・厚さ $46.8 \pm 4.68 \text{ mm} \sim 74.46 \pm 7.45 \text{ mm}$ ・質量 $7.02 \pm 0.702 \text{ kg/m}^2 \sim 11.17 \pm 1.117 \text{ kg/m}^2$ (有機質量 $335.1 \pm 34 \text{ g/m}^2$ 以下) ・密度 $150 \pm 15 \text{ kg/m}^3$ ・組成 (質量%) { ロックウール $\dots 97.0 \pm 3.0$ { バインダー (フェノール系樹脂等) $\dots 3.0 \pm 3.0$ [2] 小口面接着剤 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) エチレン-酢酸ビニル系樹脂 ・質量 $450 \pm 45 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $450 \pm 45 \text{ g/m}^2$ 以下) ・小口面積に対する使用量 $600 \pm 60 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $600 \pm 60 \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { エチレン共重合樹脂 $\dots 55.0 \pm 15$ { 炭化水素樹脂等 $\dots 45.0 \pm 15$ (2) なし
裏面接着剤	表面接着剤と同じ
裏面材	表面材と同じ

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)



$$t_1 = 0.27 \sim 1.6$$

$$t_2 = 46.8 \sim 74.46$$

$$t = 50 \sim 75$$

5. 注意事項

- 1) 本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように、材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。
- 2) 本仕様は、表面側及び裏面側のいずれを加熱面としても所定の防火性能を有する。
- 3) 天井に使用する場合にあっては、火災時に本仕様が落下しないよう施工方法等に注意すること。